

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	製品開発論		
科目基礎情報								
科目番号	0022		科目区分	専門 / 選択				
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	国際ビジネス学専攻		対象学年	専1				
開設期	後期		週時間数	2				
教科書/教材	適宜指示。							
担当教員	塩見 浩介							
到達目標								
1. 企業の製品開発について理解できる。 2. 企業の製品開発について事例報告ができる。 3. 企業の製品開発について議論ができる。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1	企業の製品開発について詳しく説明できる。		企業の製品開発について説明できる。		企業の製品開発について説明できない。			
評価項目2	企業の製品開発について高度な事例報告ができる。		企業の製品開発について事例報告ができる。		企業の製品開発について事例報告ができない。			
評価項目3	企業の製品開発について高度な議論ができる。		企業の製品開発について議論ができる。		企業の製品開発について議論ができない。			
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	本講義では、これまでの座学の内容を踏まえて、企業の製品開発について事例研究並びに議論を行う。この事例研究を通じて、製品開発を客観的に分析する力を身につける。							
授業の進め方・方法	最初に座学において、企業の製品開発について学習する。 次に、学生諸君が選択した企業の製品開発について事例報告を行い、それについて議論を行う。 報告と議論内容を加味して成績評価を行う。							
注意点	特になし。							
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		本講義の概要を説明する。			
		2週	企業の製品開発とは①		企業の製品開発について学習する。			
		3週	企業の製品開発とは②		企業の製品開発について学習する。			
		4週	企業の製品開発とは③		企業の製品開発について学習する。			
		5週	事例報告と議論①		学生が報告したテーマについて議論を行う。			
		6週	事例報告と議論②		学生が報告したテーマについて議論を行う。			
		7週	事例報告と議論③		学生が報告したテーマについて議論を行う。			
		8週	事例報告と議論④		学生が報告したテーマについて議論を行う。			
	4thQ	9週	事例報告と議論⑤		学生が報告したテーマについて議論を行う。			
		10週	事例報告と議論⑥		学生が報告したテーマについて議論を行う。			
		11週	事例報告と議論⑦		学生が報告したテーマについて議論を行う。			
		12週	事例報告と議論⑧		学生が報告したテーマについて議論を行う。			
		13週	事例報告と議論⑨		学生が報告したテーマについて議論を行う。			
		14週	まとめ		これまでの報告内容と議論の結果を踏まえて、総合ディスカッションを行う。			
		15週	期末試験		これまでの講義内容に関するレポート試験を行う。			
		16週	成績の確認		成績評価・確認を行う。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	報告		授業への参加態度		出席		合計	
総合評価割合	40		40		20		100	
基礎的能力	40		40		20		100	